

26年度事業報告

1. 火薬類に関する調査研究

(1) 爆発安全専門部会

○第 32 回：平成 26 年 7 月 23 日(水)14:30 ～ 17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 専門部会長が飯田光明氏から中山良男氏に交代した。2. 平成25年度の経済省野外実験の結果概要報告(産総研 杉山勇太氏) 3. 第15回国際デトネーションシンポジウム参加報告(一爆轟研究の歴史を中心にして一産総研 久保田士郎氏) 4. 第40回国際火工品セミナー(IPS)参加報告(防衛大学校 伊達新吾先生)

○第 33 回：平成 26 年 11 月 10 日(月)14:30 ～ 17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 部会長挨拶 2. 第15回国際デトネーションシンポジウム参加報告(産総研 久保田士郎氏) 3. 実包火薬庫の野外実験報告(産総研 松村知治氏) 4. NASA滞在報告(東海大学 水書稔治氏)

○見学会:平成27年3月19日 14:30～16:00 於 独立行政法人 海洋研究開発機 横浜研究所
内容 スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」実機、他

(2) 発破専門部会

○第 262 回：平成 26 年 4 月 14 日(月)15:00 ～ 17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. カンボジア地雷・不発弾処理活動視察の報告 2. ミニブラスティング等の発破の技術的な問題に対する議論 3. 平成26年度の事業計画

○第 263 回：平成 26 年 6 月 18 日(水)15:00 ～ 17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. ミニブラスティング等の発破の技術的な問題に対する議論 2. 研究(発破)の歴史について 3. 4th Asian-Pacific Symposium on Engineering Blasting 4. 日中韓火薬・発破技術会議について

○小委員会 ミニブラスティング関係の文献の整理について

第 1 回：平成 26 年 7 月 10 日(木)15:00 ～ 17:00 於 日本火薬工業会 会議室

第 2 回：平成 26 年 9 月 3 日(水)16:00 ～ 18:00 於 日本火薬工業会 会議室

○第 264 回：平成 26 年 8 月 20 日(水)15:00 ～ 17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 見学会について 2. 講演会 3. ミニブラスティング等の発破の技術的な問題に対する討論

○第 265 回：平成 26 年 10 月 30 日(水)07:45 ～ 20:00

見学会:株式会社ダイカ本社会議室、能勢火薬庫 及び 株式会社奥村組東畦野トンネル工事所
講演会:佐々宏一先生ご講演 於 株式会社ダイカ本社 会議室「爆発圧力による破壊について」

○第 266 回:平成 26 年 12 月 4 日(木)15:00～17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事:1. 講演会「オヤジたちの国際貢献」JMAS 高倉文敏氏 2. 「私の不発弾処理」の紹介 元 JMAS カンボジア 鈴木昭二氏 3. 秋の見学会および佐々先生講演会の参加報告(西野委員)

○第 267 回:平成 27 年 1 月 16 日(金)13:30～17:00 於 産業技術総合研究所つくば西

議事:1. 「平成 26 年度動的破砕技術に関する研究会」座長:中村裕一氏(熊本高専)「動的破砕技術開発のための破断面制御に関するモデル実験」中村裕一氏(熊本高専)「動的破砕による杭頭処理工法の実用化に関する実験」高橋祐一氏(五洋建設)「非火薬破砕剤 NRC を適用した RC 構造物破砕の実施例」長野正幸氏(相模工業)「小規模発破による破砕効果の違いと爆発影響について」西野佳奈氏(横浜国立大学)「C4 爆薬による RC 壁へのクレータ生成に関する数値解析」久保田士郎氏(産総研) 2. 第 8 回日中韓発破技術者会議(開催時期、場所の検討)

○第 268 回:平成 27 年 3 月 26 日(木)15:00～17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事:1. 第 8 回日中韓発破技術者会議について 2. 平成 27 年度発破専門部会見学会について 3. 話題提供「ミニブラスティング工法による建物部材撤去の実施例」相模工業 長野正幸委員 4. 来年度事業計画について 5. JMAS への協力について(不要文房具等の寄贈)

(3)プロペラント専門部会

○第 158 回：平成 26 年 6 月 13 日(金)13:30 ～ 16:00 於 日本火薬工業会 会議室 講演3件

○第 159 回：平成 26 年 8 月 27 日(水)14:00 ～ 17:00 於 東海大学 湘南キャンパス

議事 1. 見学;ハイブリッドロケット基礎燃焼装置 2. 講演;(1)那賀川先生 革新的宇宙輸送システムをめぐりして (2)長谷川氏 海外出張報告 3. その他

○第 160 回：平成 26 年 9 月 16 日(火)13:00 ～ 16:30 於 日本大学 駿河台校舎

議事 1. 講演:人間開発研究所代表 永岡忠彦氏 ロケットモータの研究開発の歴史 -糸川先生によるペンシルロケットの開発及び糸川先生生誕 100 年に関して-

○第 161 回 :平成 26 年 10 月 30 日(木)13:00～16:15 於 日本大学 駿河台校舎

議事 1 講演:(1)ICT に参加して、(2)AIAA に参加して、(3)その他

○第 162 回 :平成 27 年 3 月 11 日(水)13:00～16:15 於 日本大学

議事 1 講演(1) "Solid propellants research activities performed at SPLab of Politecnico di Milano" Galfetti 先生(2)AIAA 参加報告日本大学大学院 笹木氏、(3)卒研報告日本大学学部 4 年生 山中氏、茶木氏 (4)部会長賞の表彰

(4)火工品専門部会

○第 88 回：平成 26 年 8 月 1 日(金)13:30 ～ 17:00 於 カヤク・ジャパン(株)砂川工場

火工品・煙火・自動車安全部品・爆発安全の四部会の合同開催である。

議事 1. カヤク・ジャパン(株)砂川工場見学 火工品・煙火・自動車安全部品・爆発安全の四部会の合同開催である。2. 火工品部会主催講演会 (1)杏沢氏(工業会) 2013年SAFEX事故について (2)佐野先生(九産大)「粉末用大気圧プラズマ処理装置の開発と応用」(3)中村先生「火薬類の反応性に及ぼす水分の影響」、「酸化カルシウムを利用した環境に優しい廃棄処理」

○第 89 回 :平成 27 年 4 月 3 日(金)13:30 ～ 17:00 於 日本火薬工業会会議室

議事 1. 火薬事故とその教訓(1)スクイブ剤重量検査工程での発火事故 田中昭彦氏(日本化薬)

(2)無煙火薬製造工室群 捏和工程 廃棄容器からの発火 後藤浩司氏(旭化成ケミカルズ)

(3)工業雷管手動填圧工室群爆粉圧搾工室爆発事故 廣崎義一氏(北海道日油) 2. 火工品に係る海外規制等実態調査事業報告 栗原洋一(日本火薬工業会) 3. その他報告等・資料紹介(テキサスでの硝安事故:事務局)・IGUS-EPP(2014 年 4 月、ORICA 社 Hsu 氏のレポート)・中村部会長報告・火工品専門部会名簿の確認(事務局)

(5)煙火専門部会

○第 56 回：平成 26 年 9 月 26 日(金)13:30 ～ 17:00 於日本火薬工業会 会議室

議事 1. 情報交換 (1)文献情報、(2)H26 年煙火事故、(3)煙火関係会議 春季研究発表会・ISO/TC264・IGUS-EPP・IPS 2. 国内の煙火研究 (1)大内田氏(東大)「煙火組成物の圧力発生挙動」、(2)加瀬氏「煙火の消費方法」 3. 煙火の課題「煙火の今後」安全と環境、技術面の問題

○第 57 回：平成 26 年 11 月 12 日(水)18:00 ～ 20:00 於ホテルレイガンス

議事 1. ISEM2014 での作品発表

○第 58 回：平成 27 年 2 月 25 日(水)13:30 ～ 17:00 於日本火薬工業会 会議室

議事 1. 情報交換 (1)国内と海外での煙火事故、(2)煙火関係会議・ISEM2014・ISO/TC264・

UNTDG 2. 煙火の歴史 「近世職人尽絵巻(近世職人盡畫詞)」3. 国内の煙火研究 駿河氏「打揚筒内の初期容積の影響」

(6) 爆発物探知専門部会

- 爆発物探知ハンドブックの在庫が無くなったので、改訂版発行について丸善と打ち合わせた
- 「法科学とCBRNE テロ対策講演会」を平成27年6月に開催する。講師、会場等を手配した。

(7) ガスデトネーション専門部会

- 気体のデトネーションについて、主として電子メールを通して意見交換を行った。専門部会メンバーを中心として積極的に研究発表を行った。

(8) 爆発衝撃加工専門部会

- 第 13 回：平成 26 年 6 月 6 日(金)13:30 ～ 17:00 於 産業技術総合研究所 つくば西
議事 1. 部会活性化についての意見交換他 2. 講演会 片山雅英氏「火薬類を含む複雑な物理系の衝撃解析法」 比嘉吉一氏「計算力学的視点による不発弾の安全化処理」 久保田士郎氏「水中衝撃波を利用した粉末の衝撃固化装置の特性」 3. 見学会 産総研つくば西爆発実験場
- Yellow Sea Rim Workshop on Explosion、Combustion and Other Energetic Phenomena for Various Environmental Issues (YSR 2014)共催 :平成 26 年 9 月 18 日(木)～19 日(金) 熊本大学黒髪南地区

(9) 自動車用安全部品専門部会

- 第 31 回：平成 26 年 5 月 21 日(水)14:00 ～ 17:00 於 日本火薬工業会 会議室
議事 1. 自動車用安全部品評価方法のまとめについて 2. 話題提供 日本大学 大貫氏「トリアゾール金属錯体の熱特性」 3. その他
- 第 32 回:平成 26 年 7 月 18 日(金) 14:00～17:00 於 日本火薬工業会会議室
議事 1. 自動車用安全部品評価方法のまとめ(吉野氏)
- 第 33 回：平成 26 年 9 月 12 日(金) 14:00～17:00 於 日本火薬工業会会議室
議事 1. 自動車用安全部品評価方法のまとめ(吉野氏) 2. 自動車用安全部品評価方法のまとめとして、公知の評価方法 USCAR および AK-LV の和訳の確認を行った。 3. エネルギー物質に関する座談会 「IPS 参加報告」と題して防衛大学の伊達先生に話題提供頂き、活発な議論がなされた。
- 第 34 回:平成 26 年 11 月 20 日(木) 14:00～17:00 於 日本火薬工業会会議室
議事 1. 自動車用安全部品評価方法のまとめ(吉野氏) 2. 自動車用安全部品評価方法のまとめとして、公知の評価方法 USCAR および AK-LV の和訳の確認を行った。
- 第 35 回:平成 27 年 2 月 26 日(木) 14:00～17:00 於 日本火薬工業会会議室
議事 1. 自動車用安全部品評価方法のまとめ(吉野氏) 2. 自動車用安全部品評価方法のまとめとして、公知の評価方法 USCAR および AK-LV の和訳の確認を行った。

(10) 編集委員会

- 第 299 回：平成 26 年 5 月 28 日(水)15:00 ～ 17:00 於 日本火薬工業会 会議室
議事 1. 前回議事録確認 2. 運営委員会報告 3. STEM395/396号について 4. EXPLOSION69号について 5. 次号掲載記事の編集について 6. その他
- 第 300 回：平成 26 年 10 月 2 日(木)15:00 ～ 17:00 於 日本火薬工業会 会議室
議事 1. 前回議事録確認 2. 運営委員会報告 3. STEM397/398号 4. EXPLOSION70号 5. 次号掲載記事の編集について 6. 第300回編集委員会を記念して座談会及び懇親会を開催
- 第301回 :2015年1月20日(火) 14:00～15:00 於 日本火薬工業会 会議室
議事: 1. 前回議事録の確認 2. 運営委員会の報告 3. STEM399/ 400号について 4. EXPLOSION

71号について 5. STEMの編集について 6. EXPLOSION編集について

(11)企画委員会

○第 93 回：平成 26 年 5 月 27 日(火)15:00 ～ 17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 広報小委員会 学会HPの更新状況、内容充実化検討 2. 国際小委員会 IGUSの資料確認及びHP更新 3. 企画委員会 (1)論文の電子化とHP掲載(2)論文誌完全英文化について

○第 94 回：平成 26 年 7 月 24 日(木)15:00 ～ 17:30 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 広報小委員会 学会HPの更新状況、イベント、行事、部会 HP の充実化 2. 国際小委員会 IGUSの資料確認及びHP更新 3. 企画委員会 (1)論文の電子化とHP掲載(2)論文誌完全英文化についての編集委員会への意見

○第 95 回：平成 26 年 11 月 4 日(火)15:00 ～ 17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 広報小委員会 学会HPの更新状況、インパクトファクタの掲載 2. 国際小委員会 IGUSの資料確認及びHP更新 3. 企画委員会 (1)論文 540 件の年内公開と会告作成、今後の電子化(2)論文誌完全英文化に関する投稿規程改訂版の掲載、インパクトファクタ向上に向けての提案。

○第 96 回：平成 27 年 1 月 28 日(火)15:00 ～ 17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 広報小委員会 2015 研究発表会の申込みページ掲載、バナー広告見直し 2. 国際小委員会 IGUSの資料確認及びHP更新、ISEM2014 優秀講演賞のページ作成 3. 企画委員会 (1)論文の電子化 (2)編集委員長からの論文の PR の提案、学会誌と学会発表のトピックの整合。

○第 97 回：平成 27 年 3 月 27 日(金)15:00 ～ 17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事:1. 編集委員会関連 (1)論文 PR ・送り先リスト作成 ・アクセス制限付きダウンロード方法 ・論文選択は編集委員会に依頼 (2) EXPLOSION への日本語論文投稿 2. 広報小委員会 ・バナー広告 募集及び掲載料再調査 3. 国際小委員会 ・ISEM2014 優秀講演賞のページの作成

(12)西部支部

○第1回幹事会を7月4日(金)、ステーションホテル小倉で開催し、平成25年度の決算、平成26年度事業計画および予算を決定した。平成27年度の秋季大会の開催地を検討する第2回幹事会を平成27年3月4日(水)九州工業大学戸畑キャンパスのカフェテリアで開催した。

○研究会として、平成26年7月31日～8月1日に、熊本県民交流館パレアで「火薬類等の安全保安に関する研修会」を開催した。

○平成27年3月4日(水)に、九州工業大学戸畑キャンパスのコラボ教育支援棟で、卒論・修論発表会および講演会を開催した。講演会の演題は、固体ロケットの国産化(元日産(株)、IHI(株)福間大蔵氏、ニトロセルロースの劣化(福大 加藤勝美氏)、最近の火薬製造中の事故(中村英嗣氏)であった。

2. 火薬類に関する研究発表会、セミナー等の開催

(1)春季研究発表会は慶應義塾大学日吉キャンパスにおいて、5月22日(木)～23日(金)に開催した。参加者163名、特別講演2件、受賞講演3件、一般発表51件、合計56件の発表があった。

(2)ISEM2014を福岡市ホテルリゾート ルイガンスにおいて11月12日(水)～14日(金)に開催した。全参加者192名、内外国人54名、招待講演4件、口頭発表60件、ポスターセッション47件、合計111件の発表があった。福岡市コンベンション開催助成金、及び米国空軍及び海軍、並びに日本煙火協会から支援を得た。煙火専門部会会員の煙火業者から打揚げ煙火の協力を得た。

3. 火薬学会賞の授与

火薬学会賞選考委員会において①学術賞1名②技術賞2名③奨励賞3名を推薦し賞を授与した。

4. 学会運営

通常総会、評議員会、理事会(4回)、運営委員会(5回)、専門部会長会議を開催した。開催日、開催場所は次の通りである。又、事務局として、学会入会申込書、種々の委員会議事録等事務局で保管している文書のPDF化を図るため、一部仕分け作業を実施した。

- (1) 通常総会：平成26年5月22日(木)慶応義塾大学日吉キャンパス
- (2) 評議員会：平成26年5月22日(木)慶応義塾大学日吉キャンパス
- (3) 理事会：○第248回 平成26年4月23日(水)日本火薬工業会会議室
○第249回 平成26年5月22日(木)慶応義塾大学日吉キャンパス
○第250回 平成26年10月16日(木)日本火薬工業会会議室
○第251回 平成27年3月16日(月)日本火薬工業会会議室
- (4) 運営委員会：日本火薬工業会会議室
○第119回 平成26年4月16日(水) ○第120回 平成26年7月31日(木)
○第121回 平成26年10月9日(木) ○第122回 平成26年12月17日(水)
○第123回 平成27年3月11日(水)
- (5) 専門部会長会議：平成26年5月23日(金)慶応義塾大学日吉キャンパス

5. 平成26年度中の社員の異動状況

	平成26年 4月1日	平成26年度中の増減					平成27年 3月31日	備 考
		入 会	移籍		退会・ 逝去	資格 喪失		
			入 会	退会				
名誉社員	3					3		
永年社員	61				1	60	播磨氏	
特別賛助社員	14					14		
団体賛助社員	14					14		
個人賛助社員	13					13		
団体維持社員	14				3	11	コクワ、沖縄アンホ、 津久見アンホ	
個人維持社員	158		1		9	150		
正社員	一般	436	27	1	1	22	441	再入会2名
	学生	43	8		1	8	42	
合計	756	35	2	2	43	748		
外国社員	11				4	7		
(参考)購読社員	12				6	6	21部	

(注)正社員(一般)退会に休会1名を含む。